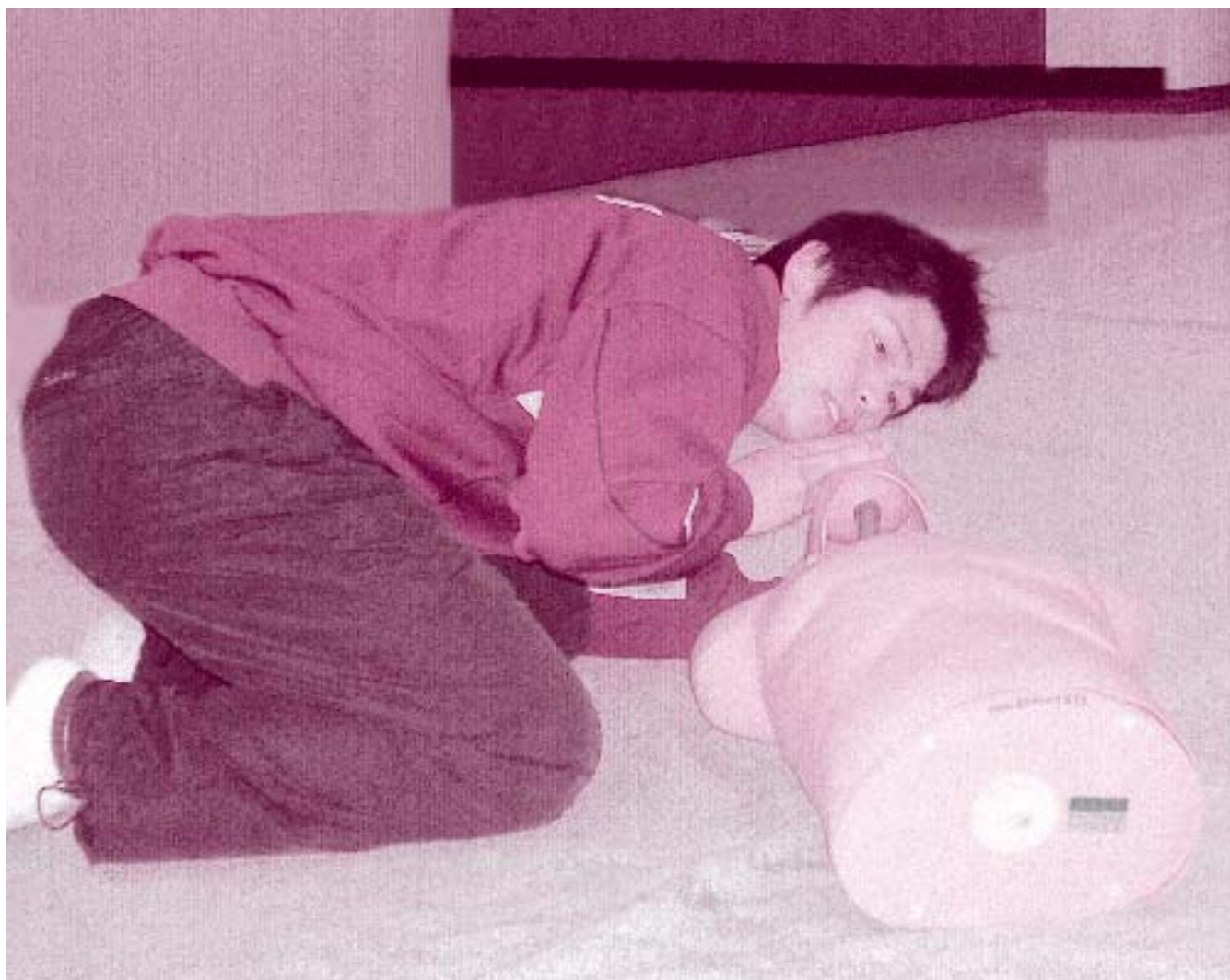




ふれあい119

『救命のリレー』が大切な人を救います

北上地区消防組合では、人が倒れ、呼吸停止、心肺停止及び多量出血になっていたときに、救急隊員が来るまで行う心肺蘇生法、応急手当の救命講習会を実施しています。



(北上消防本部で実施された、上級救命講習会)

『その油断・火から炎へ・災いへ』

春季全国火災予防運動
3月1日(月)～3月7日(日)

【ここがポイントわが家の火の用心】 北上地区消防組合では、火災を防ぐため次の事に注意を呼びかけています



天ぶらを揚げるときは、その場を離れない



子供には、マッチやライターで遊ばせない



寝タバコや、たばこの投げ捨てはしない



家の周りに、燃えやすい物を置かない



仏壇の、ローソクや線香は完全に消す



風の強い時は、焚き火をしない

(火災予防週間の主な行事)

- 一 火災予防運動恒例の『裸マラソン』
* 3月6日(土) 午前10時30分北上消防署出発、本通りへ諏訪町へ大通りのコースを走り防火を呼びかけます。(沿道での声援をお願いします)
- 二 火災防訓練の実施
* 3月7日(日) 午前7時、鬼柳地区(鬼柳小学校周辺)で実施されます



住宅用火災警報器のお問い合わせは
消防本部予防課 TEL0197-65-5173
日本火災報知器工業会
TEL03-3831-4318

「住宅用防災機器を

備えよう」

パート1

火災警報器

住宅用の火災報知器があるのをご存知ですか。

火災による熱あるいは煙を感知すると警報音を鳴らします。

面倒な配線もなく、ドライバーがあれば天井などに簡単に取り付けられます。

早めの発見が家族を火災から守ります。

西和賀農業まつりに 起震車登場



平成15年10月25日(土)秋晴れのもと、恒例の西和賀農業まつりが、西和賀農協団地センターで盛大に行われ、消防コーナーに起震車「しんちゃん」が登場し、大勢の人が震度7のユレを体験したり、地震クイズ等で地震の怖さを感じるとともに、改めて防災について認識を深めたようでした。

この起震車は、岩手県防災センターで管理しており各消防本部からの申請で貸出し、各地区でユレの体験をさせているものです。

夢がいっぱい僕らの消防訓練

「社会福祉法人和江会 わがの里保育園」 保育士 高橋志乃

保育園で毎月行っている避難訓練は火災や地震、時間や避難場所等の想定を変えて行っていますが、年1回の消防訓練は、子供達にとってとても貴重な体験です。

非常ベルの音とともに外へ避難すると、本物の消防自動車や救急車が保育園にやってくるのです。絵本や紙芝居を通じて見る事は多いものの、本物を間近で見るという機会はめったにない子供達はくりくりの目を大きく見開き興味津々で消防自動車から目が離せません。消防士さんの防火についてのお話にじっと耳をかたむけ「うん・うん・・・」とうなずき理解している様子、その後は記念撮影に放水訓練、小さい子供達は驚いて泣いてしまう子も中にはいますが、放水訓練の消防士さんの勇ましい姿に子供達も保育者



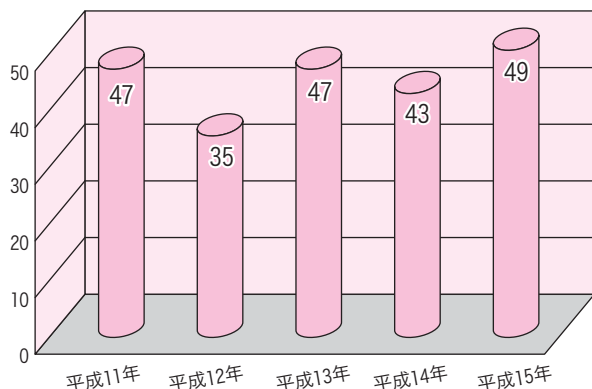
も拍手喝采です。訓練が終了し保育室へ入ると子供達のこんな会話が…「消防自動車大きくてかっこ良かったね」「僕大きくなったら消防士さんになりたいな」「私も」なかなか興奮の冷めない子供達、男の子、女の子問わず憧れの存在なのだなあと感じました。これからもこの街を守ってくださいね。

平成15年中の 火災件数は49件

平成15年中に北上地区消防組合管内（北上市・湯田町・沢内村）で発生した火災は49件で前年の43件に比べ6件増加しております。

これを過去5年間の火災件数で見ますと、平成11年は47件、平成12年は35件、平成13年は47件、平成14年は43件、平成15年は49件で平均すると42件で、約8日に1件の割合で火災が発生したことになります。

過去5年間の火災動向 出火件数

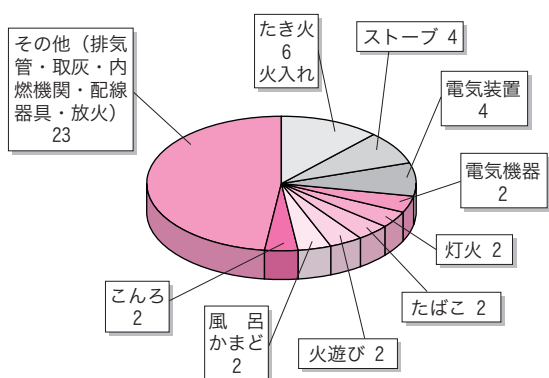


出火原因のワーストワンは たき火・火入れ

出火原因はたき火及び火入れ・電気機器（電気装置）・放火・灯火・ストーブ・配線器具・たばこ・こんろ・その他となっております。死者数は2人で前年6人に比べ4人減少しました。

火災種別では建物火災が32件、車両火災が7件、林野火災が6件、その他火災が4件となっております。焼損棟数は40棟、建物焼損面積は1千905平方メートルで、火災損害額は1億2099万9千円となっております。

出火原因別火災件数

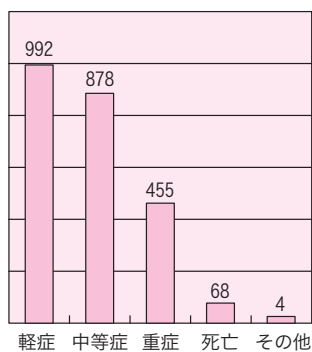


平成15年中の 救急出動件数

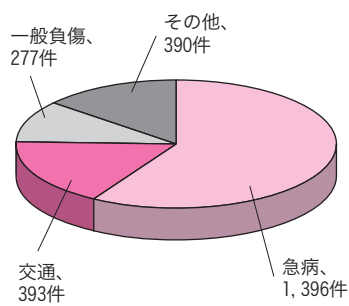
平成15年中に救急車が出動した件数は、2,456件で1日平均7回出動しています。

また、救急車で病院に搬送された人は、2,397人で、管内の42人に1人が利用したことになります。搬送した人を傷病程度別に見ると、軽症が992人で最も多く、次いで中等症・重症・死亡と続きます。

傷病程度内訳



救急出動件数 2,456件

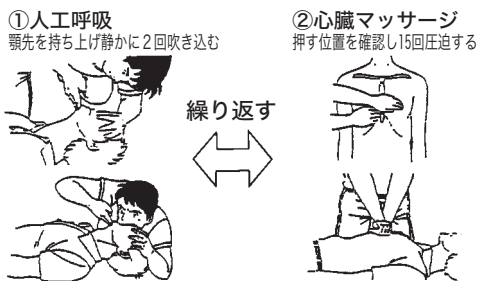


覚えよう！『心肺蘇生法』

突然の心臓発作や窒息などにより、心臓や呼吸が停止した状態の人には、いち早く応急手当を行わなければ救命することはできません。

あなたの迅速な
心肺蘇生法
と119番通報

が救命リレーの
スタートです！



詳しくは
毎月第2第3日曜日9：00～12：00北上消防署で講習会を行っています。
お気軽にどうぞ！受講は無料、当日も受け付けます。
お問い合わせは 警防課救急救助係 65-5175まで

新たに救急救命士誕生



救急救命士
高橋剛消防士

北上地区消防組合で17人目の救急救命士となりました。現場はもろろん、救命率向上のため講習会などにも力を入れていきたいと思っております。よろしくお願いたします。